

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関有知高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年1月30日(火) 15:00~16:50
- 3 開催場所 関有知高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	横山 さつき	中部学院大学短期大学部社会福祉学科 教授
副会長	澤田 通直	下有知中学校 校長
委員	森 有生	関青年会議所 理事長
	平田 尚	しもうちふれあいまちづくり協議会 顧問(欠席)
	武田 由美子	特別養護老人ホーム ハートフル 総務主任
	今井 典子	下有知保育園 主任保育士
	浅野 欽一郎	せき・まちづくりNPO ぶうめらん代表理事(欠席)
	古田 勇貴	関市役所市民協働課 事務員
	北村 清司	本校PTA 副会長(欠席)
学校側	杉江 祐子	校長
	山田 哲志	教頭
	中藪 淳	事務長
	名和 憲一	教務主任
	大野 広行	図書・情報管理主任
	塚原 秀幸	研修主事
	長尾 真由里	生徒指導主事
	藤原 章斗	特別活動係長
	福山 美苗	保健主事
	辻 祥平	進路指導主事
	吉野 典子	生活デザイン科主任

### 5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校評価アンケートの分析及び学校全体としての自己評価について
  - ・教育方針や学校経営についての取組は、概ね良い回答が得られた。
  - ・前年度比で、どの取組についても概ね良い回答が得られているが、「わからない」との回答もあるため、周知方法を工夫して取組む。意見1: 「わからない」の回答が多い原因は、無関心または本当にわかenらいことが予想できる。保護者に周知・発信する連絡の中に、簡単で構わないので学校の取組を記載できるとよい。

- (2) 各分掌からの報告、次年度の取組みについて

#### ①教務部

- ・ICT機器やデジタル技術を活用することにより、教員業務の負担軽減を図った。  
意見1：デジタル化による業務負担軽減は評価できる。
- ・生徒に対してタブレットを用いた授業評価を実施し、教員の更なる学習指導力の向上を図った。  
意見1：評価結果は生徒にフィードバックしているのか。  
⇒していない。  
意見2：評価結果を生徒にも提示できるようにするとよい。
- ・本校の実情に合わせた掃除やボランティア活動、保護者対応等多くの職員研修を実施した。  
意見1：職員の出席率は出しているか。  
⇒出していない。  
意見2：出席率を出し、欠席者には何らかの方法で研修できる環境を整えてもらいたい。

#### ②生徒指導部

- ・MSLや生徒会役員等の生徒が中心となり、登校時に「あいさつ運動」を行い、マナーの向上を図った。  
意見1：生徒主体のあいさつ活動は素晴らしい。これを機に地域の人にもあいさつすることができるよう意識の醸成を図ってもらいたい。  
意見2：自転車乗車時はヘルメット着用となるが、登校後にドライヤーが使用でき、鏡のあるレストルームを設置するなど施設整備をしないと定着は難しい。
- ・命を守る訓練等を含む防災教育はマニュアルを作成しているものの、実際の動きが重要となるため、生徒に落とし込めるよう内容を工夫して進めていく。  
意見1：リスクマネジメントの観点からも、備蓄食等は校内でも耐震性の強い部屋に保管し、生徒・職員共にどこに保管してあるのかを周知できるとよい。また、AEDの設置場所も併せて周知できるとよい。

#### ③進路指導部

- ・キャリアプランナーや市と連携した企業展等の事業を実施し、生徒の職業選択に向けた意識の向上を図った。
- ・生徒が個々の課題を的確に捉えた学習習慣の確立及び学力向上を目指し、次年度から学習支援ソフトを導入する。  
意見1：新聞を活用した学習習慣の確立や向上に取り組んでもよい。  
意見2：地域に根差すといった観点から、市役所、警察官、消防員といった公務員試験の対策をしてほしい。

#### ④家庭教育部

- ・多くのボランティア活動の機会を提供することで、地域との連携や交流を図ることができた。  
意見1：高校生が施設に訪問に来ると、雰囲気明るくなるためたいへんありがたい。
- ・実習の苦手な生徒が増えているため、学習意欲を高めることで生活産業分野で活躍のできる生徒を育成したい。  
意見1：実習が苦手な生徒には、何が課題で苦手意識があるのかを検証し、対応策を検討してほしい。

#### (3) その他（報告事項）

- ・本校職員のストレスチェック及び健康診断の結果を報告

## 6 会議のまとめ

- ・学校全体の取組及び各分掌からの取組についての成果と課題等について、次年度への期待や改善案等具体的な意見を得た。
- ・よき地域社会人の育成に向け、地域の人々にもあいさつのできる教育活動を行っていきたい。